

プシケおおたニュース

2019年11月号 NO.37

社会福祉法人 プシケおおた事務局
〒144-0051 東京都大田区西蒲田 4-4-1
TEL : 03-5700-6352
FAX : 03-5700-6753
E-mail psyche-ota@mbj.nifty.com
HP <http://www.koujiya-center.com/>

◆法人の理念◆

「一人ひとりの”ちから”を信じ、当事者の思いを実現する。」

～私たち（プシケおおた）は、関わる人・機関が持っている力とその可能性を信じ、当事者の「こうしたい、こうありたい」という思いの実現に向かって行動します～

◆運営方針◆ 職員行動指針；

- ① 当事者中心 ② 自己決定 ③ 権利擁護 ④ 啓発
- ⑤ 協働 ⑥ 創造 ⑦ 研鑽 ⑧ Win-Win



法律相談

宮崎 万寿夫

1. 皆さん、こんにちは。私は宮崎万寿夫といって都内で弁護士をしている者です。今般、依頼を受けまして原稿を書かせていただきました。私は「プシケおおた」では設立当初から法律相談を担当しています。既に10年以上になるわけです。相談は毎月1回、かまた生活支援センターで最終週の火曜日夜にしています。そこで本稿では、法律相談の様子を皆さんにご紹介するとともに、私の感想や将来に向けての展望などについてお話したいと思います。
2. さて相談内容は実に様々です。中でも、家族の問題、住んでいるアパートの問題、親の死亡による相続問題、借金負債の問題などが多いです。純粹の法律プロパーのものだけでなく広い意味で生活相談に及ぶことも多いです。もちろん守秘義務がありますので、個別の相談案件についてここで話すことはご遠慮せざるを得ません。しかし、長く相談を担当していると、数多い中にも、共通点があるようにも感じます。そのいくつかをお話すると、
 - ① まず感じるのは、悩みを一人で抱え込んでいる例が非常に多くあります。もちろん、悩みなのですから、内容としては判断に迷うこと、腹がたつこと、何をどうしたらよいかわからないことだらけです。誰しもこうした状況に置かれると大変です。こうした時に、大事なのは一人で抱え込まないで、信頼できる人にまずは話を聞いてもらうことですね。その場で名案を求めたり、まして身構えるような相談である必要はありません。気軽に悩みを打ち明けてもらえる環境、雰囲気を作ることが大事であると思います。
 - ② 次に感じるのは、何か自分で行動する前の段階で、早めに相談することですね。冷静さがなくなると、「何か早くしなければ大変なことになってしまう」と考えがちになります。しかし、これまでの経験ですと、本当に一刻を争って大至急何かしなくてはならないような状況などめったにあるものではありません。まずは気持ちを落ち着けて、一晩ゆっくり寝てからでも大丈夫です。逆に言えば、一旦何か軽率に行動してしまうと、あとでリカバリーするのが難しくなります。その意味でも、早めに相談してもらえると助かりますね。
 - ③ また、当の本人は全く意識がないのに、周囲の方が焦ってしまい、まるで本人をおいて行動するような例もあります。心配のあまりでしょうが、相手方があるような紛争であれば、肝心の事実関係は当の本人しかわかりません。それなのに、周囲の方が頑張ってしまうと、直接に自分は体験していないのに推測を重ねてしまい、その結果、前提となる事実関係を過ってしまう危険があります。
 - ④ 更に書類も大事です。ネット社会ではあっても依然として書類の重要性に変わりはありません。郵便物、契約書、請求書、領収書などの関係書類は放置処分しないで、1カ所にまとめて保管しておきたいものです。
 - ⑤ 解決方法として、「自分からは動かないで放置静観するという選択肢」も大事です。特に相手方がいるようなトラブル案件では、「自分の方から何か行動するという選択肢」だけでなく、「放置静観するという選択肢」もあることを忘れてしまいがちです。 (次ページへ)

以上①ないし⑤とお話しましたが、要は、せつかくの制度ですから、法律相談を大いに利用してもらいたいということに尽きます。気軽に早めにですね。きっとほとんどの皆さんには、「自分には法律は関係ない」という意識があると思います。しかし、現代では、毎日生活していけば、ほんのささいな事でもトラブルは発生してしまいます。また、自分はいかに慎重に用心深く生活していても、自動車のもらい事故ではありませんが、思わぬトラブルに巻き込まれたりします。こうして考えると、今はさしあたり心配事もないけれども、将来に備えて、制度やしくみ、自分の権利の有無やその実現の手続きなどについておおかでも知っておくことは、とても安心感を与えてくれます。

3. 今回、改めて設立10周年記念冊子「あけぼのからプシケへ」(2012)を読み返してみました。この間、利用者の方、職員の方などを始め関係者の皆さんも、少しずつ、しかし確実に移り変わってきています。もう10年以上も経っているわけですからね。取りまく社会環境も大きく変わってきています。しかし、拝見してしまして、「プシケおた」では、皆さんの支援の理念は一貫しています。支援のための具体的な方法論とか、施策取り組みの仕方などには様々な考えもあることでしょう。しかし、初心を忘れず、基本となる理念さえしっかりしていれば、今後とも揺らぎなく継続することができると確信しています。こうした中で、私が担当する法律相談という業務はほんの一端にすぎませんが、ライフワークとして今後とも大事に努力してまいります。皆様の今後一層のご活躍ご発展を祈念しております。ありがとうございました。

◇宮崎万寿夫先生には平成13年～25年迄評議員を25年～27年に監事を歴任していただきました◇

『カレーと宿題』 (プシケ地域貢献PT)



8月31日(土)、第1回「カレーと宿題」を開催しました！

プシケおたの地域貢献活動としてスタートしましたが、法人外の方々にもお声かけし、賛同していただける方々と一緒に「地域の子どもたち向けにカレー提供と宿題を手伝う会」として実施しました。前日から食材の買い出し、当日のカレー作りは急遽かまた生活支援センターの厨房を借りて、開催場所の「CSにしかまた」まで運び入れることになりました。15時～宿題タイム、17時～カレータイムに。料金はワンコインのみ(コインの種類は問わず)。宿題では、夏休みも終わりに差し迫っており小学2・4・6年生のお子さんが自由研究を持参。通りがかりの親子も様子を見に入られました。宿題以外にも、おしゃべりしたり、絵を描いたり、ジェンガをするなど思い思いに過ごしていました。カレーは夏野菜たっぷり、サラダやスイカも添えました。カレーは量を作りすぎてしまいましたが、美味しく出来上がりほとんどの人がおかわりをしていました。まずは事故なく終えられてホッとしています。今回は開催直前に、世話役の一人が日本料理の店で会った見ず知らずの税理士さんに、この内容をお話したところ、「ほんのきもち」と書かれた小型の封筒に入れて、1万円の寄付をいただき、費用面の心配をすることなく開催することができました！こんなこともあるんですね㊤感謝感激です(^^)♪

ひとまず「第1弾をやってみよう」ということでバタバタと開催にこぎつけましたが、費用、衛生面、広報、対象者等々、今後に向けての課題もあります。とはいえ、動きながらより良くしていこうと第2弾の開催が決定しました！手弁当で行っていますのでお手伝いしていただける方々を募集しています♪

第2回「カレーと宿題」2020年1月4日(土)
CSにしかまたにて

詳細検討中です

センター祭りのご報告



こうじや生活支援センター

今年もセンターまつりは「福祉のまち粕谷 第7回夏のおまつり」と合同で8月18日（日）に開催しました。当日は、区長さんを始め、大田区議、連合町会長、大田区職員の皆様他、たくさんの方々にご臨席いただき、また、南晴病院、地域の皆様、元実習生の皆様、計195名の皆様に参加していただきました。地域の事業所のP. プロゼクトさんやクッキングワーク街の駅さんや家族会の方、ボランティアの方々やメンバーさんなど多くの方々の協力を得て、盛況のうちにおまつりを終えることができました。誠にありがとうございました。

今年もあけぼの会と共催で当事者発表会を行いました。



販売では私達が作ったアクセサリーが本当に売れるのか心配していましたが1つ2つと売れていくのを見て凄く嬉しくなりました。お昼になり2階の食堂は大行列の大盛況の様子。私もお祭りミーティングで考えた商品を全て頂いて大満足でした。どれもとても美味しかったですよ。

午後は姪っ子が楽しみにしていたアクセサリー作りに参加。姪っ子も「楽しかったし、夏休みの工作の宿題も出来た。」と喜んでいました。皆さんお疲れ様でした。そして、有難うございました。

和枝 さん



今年はメンバーさんが描いた絵をセンター中に飾りました。

アクセサリー体験コーナーではたくさんの方が参加してくださいました。



大田区長もお越しいただきました。ありがとうございます。



自分は当事者発表のことだけ考え、他のことを考えられずにいました。2020年の自分の課題です。
あっちのほうから さん

令和1年8月18日（日）にセンター祭りで行われた当事者発表会で発表しました。人前で話をするのは初めてで緊張することもなく堂々と発表することが出来ました。皆、わかりやすく良い文章だとほめてくれました。うれしかったです。又、去年と同じくとん汁を2杯食べました。おいしかったです。センター祭り大成功、おめでとう。

小松 さん



かまた生活支援センター 地域交流事業 芋煮会



2019年10月26日(土)にかまた生活支援センターでは芋煮会を開催しました。前日に大雨が降ったものの、当日は晴れて暖かい陽気に恵まれました。今回、芋煮会のテーマを「心のバリアフリー」と掲げて、地域への啓発を行いました。精神の障害とはどんな障害で、地域に何を伝えていきたいかをみんなで話し合いながら作り上げていくことができ、良かったと思います。サックスと歌のコンサートも素晴らしく、音楽と歌詞が心に響き、感動しました。お越しいただいた方、そしてご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



芋煮会テーマは啓発の思いを込めた心のバリアフリーでした。



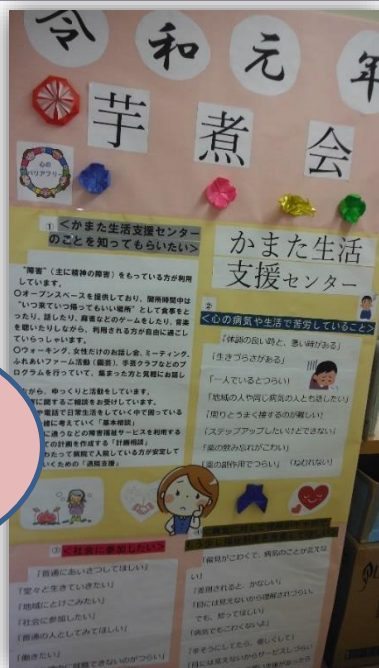
地域のお子さんも来てくれました



芋煮が絶品でした！



MAYUMI さんのコンサート、素敵でした！



ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！

🍲ホームめい夕食会始まりました🍴



調理は、写真一番左の非常勤世話人猿渡さんが担当しています。少ない予算ながら、いつも手の込んだ料理を作ってくれて、入居者さんも大満足しています。

ホームプシケの新設のグループホームである「ホームめい」も開設から早1年半が経とうとしています。これも行政をはじめとした各関係機関、地元住民の皆様、家族の皆様のお陰であると感謝しております。

さて、6名定員であるホームめいですが、本年の4月に満室になりました。もともと入居者さんからご要望をいただいていた夕食会を6月から隔週の土曜日に試験的に開始し、今ではすっかり定着しています。食事中は、普段聞くことのないエピソードや趣味嗜好の話などもあり、職員を含めた入居者さん同士のコミュニケーションの貴重な時間となっています。食事は、やはり生活の基本です。この食事会を通して、バランスの取れた栄養の摂取はもとより、事前の盛り付けの準備や洗い物などの後片付けなどの役割を分担して行うことにより、将来の一人暮らしに向け、大きな経験に繋がるのだらうと思っています。

今後は、季節に合わせたイベントやケーキ作りなど夕食会を色々な形で発展させていくことを話し合っています。

ホームめい世話人 高橋

めい;中国語で梅の意



CS
にしかまた

9月29日・日曜日。雨が降るか？降ってもやむのか？微妙な天気でしたが、昼過ぎ、晴れ間も少しありフリーマーケットは無事開催されました。区画代は700円になって2回目でした。花屋さんから牛乳屋さんタバコ屋さん辺りの中央部分は大岡山商店街の青年部の方々がテントを三つ張り賑わいを演出してくれ、フリーマーケットとしてはセブンイレブン側と女塚小学校よりの歯医者さん辺りと中央部をはさんで西東にお店を展開しました。今回も、西蒲田商店街交友会に賑わいが戻ってきました。

「CSにしかまた」は利用者さん2人、家族会から9人が集結し、交友会の区画担当山岡も入って、古着・雑貨の販売、ポップコーンや飲み物の販売に取り組みました。古着雑貨15千円、ポップコーン9千円、飲み物6千円の売り上げでした。(山岡)



クッキングワーク街の駅

福祉フェスに参加しました

大田産業プラザPIOにて9月29日に開催された福祉フェスに今年も参加し、福祉カフェエリアでパウンドケーキとお弁当を販売しました。パウンドケーキはメンバーさん達、お弁当は当日朝に調理スタッフとメンバーさん達が作り、現地での販売も皆さんに活躍していただきました。今回は蒲田女子高校の生徒さん達がボランティアで会場内を何回もまわり、お弁当の注文をとってきてくれたおかげでお弁当もパウンドケーキもあっという間に完売しました。また、各カフェブースの紹介タイムにはメンバーさん達と職員がステージに上がり街の駅のPRが出来たので、これから注文が増えることを期待しています！



レクリエーション - 横浜中華街

10月29日のレクリエーションでは、事前の投票にて行き先に決まった横浜中華街へメンバーさん計8人と職員2人で出掛けました。あいにくの雨でしたが、散策しながらお店を覗いたり軽食をつまんだりしました。

昼食に中華料理屋に入ると各々が食べたいメニューを注文し、「エビチリがプリプリして美味しかった」「ランチ料金でこれだけ食べられて満足した」などの感想をいただきました。昼食後にはお土産を買う方や、さらに肉まんなどを食べ歩きされる方もおり、それぞれで楽しんでいただけたようです。

街の駅では仕事があるなか、メンバーでお出かけすることなどが少なくなりがちですが、これからもメンバー同士の親交を深める機会を積極的に作りたいと思っています。



新入職員の紹介



高橋航太

10月からホーム蒲田の非常勤として入職いたしました。グループホームでの勤務は初めてで、日々学ぶことばかりです。これから迷い悩むことも沢山あると思いますが、チームのちからを信じて、よりよい関わりができるよう精進していきたいと思っています。ご指導よろしくお願いいたします。

こうじや生活支援センター プログラム紹介

こうじや生活支援センターでは様々なプログラムをメンバーの皆さんと一緒にしています。レジニアクセサリーや外出プログラム、お茶会等の他、メンバーさん自主企画の手話プログラムもあります。各プログラムはメンバーさんと一緒に考えて楽しく運営をしています。皆様のご参加をお待ちしています♪

レジニアクセサリーでは皆さん
素敵な作品を作っています



外出プログラムでは横浜リカバリー
パレードと空の日羽田に行きました



手芸クラブ

かまた生活支援センター（プログラム紹介）

初めてプログラムに参加するという方も気軽に参加ができる手芸クラブです。お茶を飲みながら、自分のペースで作品を作ることができ、おしゃべりをして楽しく活動しています。取り組む内容は折り紙、塗り絵、編み物などで、前回は、あやとり、毛糸のボンボン作りもしました。手芸用品などはセンターにあります。各自で持ち物を持って来ることもできます。

「あやとりの続きをしたい。」や、「今度は背景画の色塗りをしてみたい。」など、取り組みたい目標を見出している方もいます。作り物をする中で、あっという間に時間が経っていたというお声もありました。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



2019年7月1日から11月20日までに会費を納入して頂いた方

個人会員 60名

団体会員 4団体

心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

賛助会代表 高橋明紀代



事務局だより

怒涛の勢いで過ぎ去った台風19号。避難所もいっぱいに入れない、電車が止まって出勤できない、想定外の出来事が起こるご時世となってきました。当法人の各事業所でもやむを得ず休館したり、職員体制を減らす対応を余儀なくされました。こうした危機管理も含め、法人全体として取り組むべき事案は山積しています。そのような中、今年度当初に策定した「ブシケおおた3ヵ年計画」を少しずつではありますが、具体化・具現化できるよう取り組み始めたところです。限られた予算・人員での事業継続のあり方、新事業の準備、リスクマネジメント等々、想定通りに進められるかはわかりませんが、全職員が考え、議論し合えるきっかけ・材料となり3ヵ年計画が遂行できるよう期待しています。

(平野)

編集後記



入職してからというもの、毎日が新鮮で様々な場面でかまたセンターの皆さんに助けて頂きました。この温かい空間にいる今は奇跡で、昨年の自分では想像できなかったことだと感じています。私の好きな秋の花はキンモクセイですが、花言葉は謙虚だそうです。私自身もキンモクセイにならって、謙虚な心をもって、努力し続け、皆さんとの関わりをより一層深めていきたいと思います。

(戎野)